

セゾン投信

運用資産総額5,000億円突破！

セゾン投信株式会社（代表取締役会長CEO：中野晴啓、本社：東京都豊島区、以下「セゾン投信」）は、2022年3月25日に運用する3ファンドの運用資産総額が5,000億円を突破したことをご報告いたします。

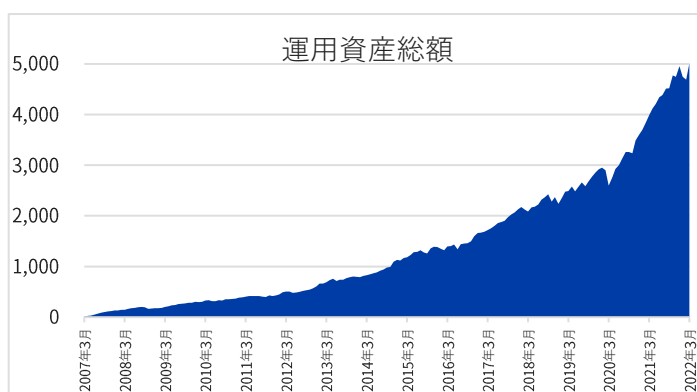
2007年3月より個人の資産形成に資する投資信託を提供したいとの思いから国際分散型投信2ファンドを運用、直接販売し「長期・積立・国際分散」投資を提唱してまいりました。

このたび15年を経て、直販を主軸に据えた独立系投信会社における大きな節目として、運用資産総額が5,000億円を突破いたしました。当社の国際分散型2ファンドは平均保有期間が業界平均の3倍超であると共に、2014年1月より資金流入超が続いていること等の要因からインベスターリターンがトータルリターンを上回っております*。これもひとえにお客さまが、セゾン投信の考え方に共鳴していただき、相場の動きに惑わされることなく積立を継続してくださった結果と考えております。

また2022年2月より、新たに「セゾン共創日本ファンド」を設定いたしました。日本企業を活性化させることで次世代に豊かな日本社会を繋げるための日本株へ投資する特化型運用ファンド*となります。

運用資産総額5,000億円は国際分散で個人の資産形成を目的として運用することで達成いたしました。次なる事業成長は個人資産を形成することに加えて、日本経済も活性化させることで実現したいと考えております。

セゾン投信はお客さま個人にも日本社会全体にも豊かさを実現させるため、「寄り添う運用会社」として、さらなる向上に努めて参ります。



セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	3,100.0億円
セゾン資産形成の達人ファンド	1,894.7億円
セゾン共創日本ファンド	17.7億円
運用資産総額	5,012.4億円

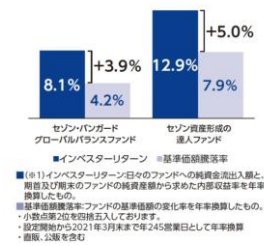
(2022年3月25日時点)

※平均保有期間



※「インベスターリターン」とは実際の投資行動の結果、投資家が得た平均的な収益率

「トータルリターン (基準価額騰落率)」は投資家が一定期間そのファンドを保有し続けたと仮定した場合の収益率
インベスターリターン (※1) と基準価額騰落率の差



【ご参考】

(2022年3月28日現在)

セゾン投信では3つのファンドを運用しています。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド <https://www.saison-am.co.jp/fund/global/>

- ・資産配分比率は株式50%、債券50%

原則として、投資対象ファンドを通じて株式と債券へ半分ずつ投資することにより、リスクを抑えながら安定したリターンの獲得を目指します。

- ・国際分散投資

インデックスファンドへの投資を通じて、世界各国の株式および債券に実質的に分散投資します。投資対象ファンドへの配分比率は、各地域の株式および債券市場の時価総額 (規模) を勘案して決定します。また、配分比率は適宜見直しを行います。

- ・低コストのインデックスファンドに投資

ローコスト・ハイクオリティ運用で定評のあるバンガードのインデックスファンドの中から、資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに投資を行います。

- ・原則として、為替ヘッジは行いません。つみたてNISA対象商品です。

受賞歴



最優秀ファンド賞 初受賞 投資信託部門 評価期間：5年

リッパー分類：ミックスアセット 日本円 バランス



最優秀ファンド賞 部門：iDeCo・DC カテゴリ：バランス (標準)



優秀ファンド賞 部門：投資信託 カテゴリ：バランス (標準)

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

セゾン資産形成の達人ファンド <https://www.saison-am.co.jp/fund/master/>

・世界中の株式に投資

投資対象ファンドを通じて主として、長期的に高いリターンが期待できる世界の株式に投資を行います。

・国際分散投資

複数のファンドへの投資を通じて、世界各国の株式に実質的に分散投資します。投資対象ファンドへの資産配分比率は、各地域の株式市場の規模などを勘案して長期的な視点で決定します。

・アクティブファンドに投資

主として、個別の銘柄選択に特化して長期投資を行うアクティブファンドに投資を行います。

投資対象ファンドは、企業分析をしっかりと行っていることや、長期的な視点で運用されていること、手数料が適正なことを選定条件としています。

・原則として、為替ヘッジは行いません。つみたてNISA対象商品です。

受賞歴



最優秀ファンド賞 8年連続受賞 投資信託部門 評価期間：5年・10年

リッパー分類：ミックスアセット 日本円 フレキシブル



最優秀ファンド賞 8年連続受賞 部門：投資信託10年

カテゴリ：外国株式コア

セゾン共創日本ファンド <https://www.saison-am.co.jp/japan/>

・銘柄選択による超過収益

徹底したボトムアップ・リサーチにより長期的に利益が成長する可能性を秘めた企業を厳選します。

株価が収益力を反映するまで、長期で忍耐強く投資を行います。

※原則、20銘柄以上保有し、一銘柄の投資割合は15%以内とします。

※市場動向やファンドの資金動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。

・対話による超過収益

企業との対話を通して企業価値の向上を図り、さらなる超過リターンの実現を目指します。

※特化型運用ファンド
特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するファンドをいいます。
※寄与度とは投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める割合または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成割合をいいます。
当ファンドが主要投資対象とする国内の金融取引所に上場している株式等には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

ご留意事項

当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資信託に関するリスクについて

◆基準価額の変動要因

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

セゾン資産形成の達人ファンド

当社の運用、販売する上記ファンド（以下、2つのファンド）は、ファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。2つのファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。2つのファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。また、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。

セゾン共創日本ファンド

当社の運用、販売するセゾン共創日本ファンド（以下、当ファンド）は、株式に直接投資を行うファンドであり、主として、国内の金融取引所に上場している株式に投資を行います。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は相対的に大きくなる可能性があります。（「集中投資リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。また、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。

◆その他のご留意点

投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。お取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

投資信託に関する費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

セゾン資産形成の達人ファンド

○購入時手数料：ありません。

○信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

セゾン共創日本ファンド

○購入時手数料：ありません。

○信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用：

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.495%（税抜0.45%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.56%±0.02%程度（税込）となります。

セゾン資産形成の達人ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.572%（税抜0.52%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.34%±0.2%程度（税込）となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

セゾン共創日本ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年1.012%（税抜年0.92%）の率を乗じて得た額とします。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料で使用しているデータ等について

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

当資料で使用しているロゴについて

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード」は毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リップパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。」

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む。）商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社のみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc.より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc.は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

商号：セゾン投信株式会社（設定・運用・販売を行います）
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

セゾン投信